

いつまでも健やかに・・・ 私たちの願いです。

医療法人玉昌会 加治木温泉病院

発行 平成23年7月1日

広報誌 第22号

すこやかか加温



暑中お見舞い申し上げます。



目 次

巻頭言（副院長 日吉 俊紀）	2
看護協会長賞受賞・患者様の権利宣言	3
新入職員の紹介	4~10
イベント・行事	11~15
メンタルヘルス通信	16・17
五十肩について（リハセンター）	18
介護保険制度（連携センター）	19
夏バテ完全攻略法（薬局）	20
食中毒予防のポイント（栄養課）	21
診療情報の提供及び開示	22
セカンドオピニオンにつままして	22
個人情報保護方針	23
氷山の一角・編集後記	24

医療法人 玉昌会 行動指針

低 賞 感 微

- 低：全てに謙虚な気持ちで接する
- 賞：お互いを思いやり敬意を払う
- 感：全てに感謝する
- 微：微笑みを添えて態度で示す

梅雨が終わり、暑い季節となっています。

加治木温泉病院の回復期リハビリテーション病棟を開設して、11年となりました。

脳卒中・骨関節疾患や廃用症候群の患者様を紹介してもらい、脳卒中の疾患はおおよそ6～5ヶ月、骨関節疾患・廃用症候群の症例は3ヶ月間の訓練の猶予期間が認められています。

本人の障害レベル、家族の介護環境により自宅に帰られるか、施設での生活の申し込みをしなくてはならないかが決まります。

回復期リハビリテーション病棟で訓練を行ってもらった患者様の全身状態の重症化とかなりの割合で認知症の併発が認められ、なかなか上手くいかない症状が増えています。本人と家族の人々の病識がはっきりしていて、はじめて、訓練の動機付けが出来て、訓練への勢いが高まります。

認知症があると自分の障害が良く理解出来ず、なかなか訓練は上手く行かない事が多く観られるようになってきています。神経賦活薬や脳代謝賦活薬等の工夫や繰り返し、繰り返しの訓練方法の説明指導を行い、移動動作や日常生活動作のやり方を習得してもらうように、家族指導・動作のやり方の指導を行っています。

回復期リハビリテーション病棟の第一目標は、自宅での生活や今までのように職場復帰であるが、本人の障害レベル、家族の援助・介助能力レベルにより変わってきます。

しかも、骨関節疾患は約3ヶ月で、脳卒中の疾患は約6ヶ月の猶予期間しか与えられていなく、自宅の環境にあった移動方法やトイレの排泄動作、入浴動作、家事動作などの多くの動作を習得しなくてはなりません。家族の介助・励まし指導があつてやっと目標に到達出来ます。

なかなか大変です。自宅復帰出来るように、また自宅に帰ってから、獲得した動作能力を落とさぬように維持していくために、回復期リハビリテーション病棟に入院中より、自宅での過ごし方を本人と家族の人々に十分指導・教育しておく必要があります。

このように、一人の患者様が自宅復帰し、一人でも多くの患者様が自宅に戻り維持出来るように、また若い人は職場復帰出来るように願っています。

加治木温泉病院

理念

基本方針

《理念》

法人の行動指針である(低賞感微)に沿った医療・サービスを提供して地域に貢献します。

《基本方針》

1. 患者様の尊厳と権利を尊重した医療・介護を目指します。
2. 患者様の視点に立ち、良質で安全・安心な医療・介護の提供に努めます。
3. 地域での亜急性期から慢性期を担う病院として医療・福祉施設との連携と在宅部門の充実を図り、入院から在宅への一貫した医療・介護サービスの提供を目指します。
4. 健全な病院および在宅事業部の運営を行い、安心で働き甲斐のある職場作りを目指します。
5. 健診や保健指導による健康管理・病気予防や介護予防に取り組みます。

イベント・行事

2010年度入職者・2011年度新入職者のつどい

平成23年4月20日（土）、始良市加治木町にある加音ホールにて新入職者のつどいが開催されました。37名の新入職員が紹介され、代表で、加治木温泉病院の百武智之さんが誓いの言葉を述べました。記念講話では、浮島和代先生より「認知症緩和ケアとタクティールケア」についてご講話頂き、出席者全員、熱心に耳を傾けていました。

式次第

1. DVD放映

しあわせの杜ケアレジデンス（鹿児島地区）紹介

しあわせの杜ケアレジデンス（始良地区）紹介

2. 開会

3. 理事長挨拶

医療法人玉昌会 理事長 高田昌実

4. 各施設管理者紹介

5. 新入職員紹介

6. 講師プロフィール紹介 高田病院院長 萩原隆二

7. 記念講話 「認知症緩和ケアとタクティールケア」

講師：雁の巣病院 在宅診療部 部長 浮島和代先生

アシスタント：雁の巣病院 経営管理室課長 豊島史郎様

8. 誓いの言葉 加治木温泉病院 理学療法士 百武 智之

9. 閉会の言葉 加治木温泉病院 院長 山下正策

10. 閉会

11. 新入職員写真撮影（集合写真）



新入職員歓迎会

平成23年4月26日(火)、鹿児島空港ホテルにて新入職員歓迎会が開かれました。理事長先生より「過去3年間は介護事業に力を入れてきましたが、今後5年間は新築移転プロジェクトを含め始良市を中心とした医療と介護に向けて頑張りましょう」との言葉を頂き、職員一同熱心に耳を傾けていました。また、新入職員による楽しい余興もあり、日頃の労を労いました。



しあわせの杜開設記念式典

平成23年6月12日（日）、鹿児島市内のサンロイヤルホテルにて、しあわせの杜開設記念式典が行われました。当日は、県内外から93名の来賓の皆様方にお越しいただき、鹿児島地区のケアレジデンスほりえ、ケアレジデンス星の街、ケアレジデンス風の街、始良地区のケアレジデンスおはな・別館の開設を祝いました。来賓を代表して4名の方より祝辞をいただき、大盛会の内に終了することができました。

会場の一角には、玉昌会や(株)JOYの事業所紹介のブースが設けられ多くの方が、興味深く展示をご覧になっていました。



おはな・別館開所式

平成23年6月20日（月）、始良地区にしあわせの杜ケアレジデンスおはな別館がオープンしました。当日は入居第1号の入居者さまもテープカットに参加していただき、「背広の人が大勢いて緊張したけど、一生の記念になりました。」と喜びのコメントをいただきました。



宿泊研修

5月20日・21日に階層別宿泊研修が開催されました。参加対象者は、入社して6年以上が経過した職員と昇進された役職者の方で、鹿児島地区と始良地区あわせて62名の職員が参加しました。1日目は理事長先生の挨拶・講話があり、在宅医療の必要性とその背景についてのお話しを興味深く聴いている様子が見られました。理事長先生の講話の後、第1部の研修がスタートしました。

テーマは、中堅職員に求められる「報・連・相」についてで、9つのグループに分かれグループごとにKJ法を用いて討議し、討議した内容をまとめて発表するというものでした。各グループ限られた時間の中で悪戦苦闘しながら意見をまとめていました。総評でも言われた、中堅職員は報・連・相を受ける立場でもあり、する立場でもある上司と後輩のパイプ役であるということ、日頃からのコミュニケーション・職場の環境づくりが大切ということを全研修生が認識していたようでした。2日目は、九州人事マネジメントの三原先生による研修で、中堅職員の役割についてのお話しがありましたが、1日目の理事長先生のお話しと共通する部分もいくつかありました。

2日間の研修で得たことを、今後の業務に生かして欲しいと思います。



また、人財開発課の板川課長より、鹿児島県看護協会長受賞の報告がありました。加治木のブロック長を務めたことなど、これまでの看護協会への貢献が認められての表彰で「周りのサポートのおかげだと、感謝しています」とコメントされました。



法人学会2010

6月19日土曜日、医療法人玉昌会法人学会2010が開催されました。

あいにくの雨風の中にもかかわらず、200名を超える方々に参加していただきました。

このうち、法人外部からも17事業所46名の方が参加。当法人の奨学生制度の対象学生21名のみなさんも参加してくださいました。

学会第1部の研修発表会では、高田病院、加治木温泉病院から各3題ずつ、在宅サービス事業部から2題の全8テーマについて発表がありました。

この中の2つの演題「経腸栄養・絶食患者様の口腔ケアに関して」「職員に対するメンタルヘルス支援の取り組み」は6月30日～7月1日に開催された日本慢性期医療学会においても当院の代表として発表を行いました。

当学会第2部の交流会においては、サプライズとして、2010年度の最優秀職員表彰も行われました。

高田病院院長賞

高田病院地域医療連携センター

加治木温泉病院院長賞

加治木温泉病院歯科衛生士 児玉直子

理事長賞

人工腎臓センター・医療安全推進担当師長

新本紀子

当法人学会も第2回目となり、年間の定例行事として定着してきましたが、来年も更に磨きをかけ、名実ともに充実した学会になるよう、発表される方々の努力と関係者のみなさんのご協力をお願い申し上げます。



竹之内賢一先生離任式

6月30日をもちまして、腎臓内科の竹之内賢一先生が当院を退職される事になりました。気さくな人柄から、多くの患者様及びスタッフ一同より絶大なる信頼を寄せられていただけに惜しまれますが、新転地での活躍を心より御祈りしてお送りしたいと思います。

竹之内先生より一言「感謝です。ありがとうございました。」



特集:5月病

5月病とは…

☆大学に入りたての学生が5月連休後ぐらいから、うつ的な気分や無気力な状態になることから言われるようになりました

☆近年は一般の人、特に、新社会人にも同様の症状が見られます。新社会人の場合は、新人研修が終わって実際の仕事を始めた後の6月頃に見られることが多いため、「**6月病**」などとも呼ばれます。

原因

- 新しい環境についていけない
- 新しい人間関係が思うようにいかない
- 入試・入社といった大きな目標を達成した解放感がある
- 目標の達成により、次の目標を見失ったり、混乱したりする

まじめ、几帳面、神経質、完璧主義、内気などが5月病になりやすい性格だと言われていますが、**どんな人でも陥る可能性があります。**

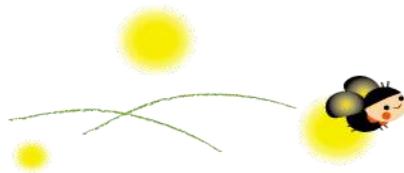


5月病の症状

精神面: 無気力、意欲喪失、気分の落ち込み、イライラ、憂鬱・億劫、不安、焦燥感など

身体的: 睡眠障害、朝起きられない、疲れがとれない、食欲不振・増進、頭痛、腹痛・下痢など

行動面: お酒やタバコの増加、暴飲暴食、遅刻・欠勤など



5月病に要注意!!

「5月病」は医学用語ではなく、診断としては「適応障害」や「うつ病」となります。

通称
5月病

医学用語
適応障害
うつ病

5月頃に発症すると「どうせ5月病だから、時間がたてば治るだろう」ととらえられてしまうことがあるかもしれません。体調や気分の異変が続くようなら、「5月病だから」と簡単に考えずに、できるだけ早く受診することをお勧めします。



心理相談室: 岩元

五十肩(肩関節周囲炎)について

リハセンター

(1) 五十肩について

五十肩とは急激に発生した肩の痛みで、肩の可動域制限を伴うものの総称である。片麻痺にも合併しやすく、肩の疼痛(自発痛、運動痛)と運動制限が主症状であり、疼痛による反射性筋拘縮と線維化により肩関節拘縮が生じてくる。

原因としては、回旋筋腱板と上腕二頭筋長頭腱や滑液包の炎症などで生じてくる。一般に炎症は6ヶ月から1年で自然治癒が多く、肩関節拘縮の予防・治療が重要である。

(2) 治療について

前期(疼痛を主とする時期)・・・初期安静・薬物療法(消炎鎮痛剤、ステロイド関節注) 温熱療法・愛護的なROM訓練
後期(拘縮が起こった時期)・・・薬物療法・温熱療法を併用しながら運動療法

(3) 肩関節の可動域訓練

コッドマン体操

基本姿勢：健側の手を机の上に置き、患側手で1～2kg程度の重り(アイロン等)を持ち、体幹を前傾し患側上肢を下に垂らす
膝を屈伸し上体を揺らし、上肢を前後に振る。
同様に左右に振る。

時計及び反時計方向に円を描き、徐々に大きくする。

①～③でそれぞれ3分ずつ、1日2～3回行う。肩の力でなく、あくまで体の反動で行う。痛みを我慢して行うものでないことに注意する。

第一日目は手に何も持たずに行い、翌日から1kg程度の砂のう、アイロンなどを下げて行う。



～③施設サービス～

入院をきっかけに様々な不安があるなかで「介護」に対する不安を抱えている方は多いのではないのでしょうか。その不安を軽減する方法として、介護保険サービスの利用があります。そこで、前々回より3回にわたり介護保険制度について紹介しています。今回は「施設サービス」についてご紹介いたします。

○施設サービス○

施設サービスは、介護が中心か治療が中心かなどによって、入所する施設を選択します。入所の申込みは介護保険施設へ直接行き、事業者と契約します。

●生活全般の介護が必要●

・介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

寝たきりや認知症で日常生活において常時介護が必要で、自宅では介護が困難な方が入所します。食事、入浴、排せつなどの日常生活介護や療養上の世話を受けることができます。

●リハビリを受けたい●

・介護老人保健施設(老人保健施設)

病状が安定している人に対し、医学的管理のもと看護、介護、リハビリテーションを行なう施設です。医療上のケアやリハビリテーション、日常的介護を一体的に提供し、家庭への復帰を支援します。

●病院での長期的な療養が必要●

・介護療養型医療施設(療養病床等)

急性期の治療は終わったものの、医学的管理の下で長期療養が必要な人のための医療施設です。医療、看護、介護、リハビリテーションなどが受けられます。

○利用時の負担額○

施設サービスを利用した場合の負担額は、サービス費用の1割、居住費、食費、日常生活費(洗濯代、病衣代など)が自己負担になります。

また、低所得の人は所得に応じた負担額軽減の制度もあります。

※基準費用額とは、施設における居住費・食費の平均的な費用を勘案して定める額(1日あたり)のことで、利用者負担は施設と利用者の中で契約により決められますが、水準となる額が定められています。

他にも有料老人ホームや認知症対応型共同生活介護(グループホーム)といったところもありますので、詳しくは、地域医療連携センター(医療ソーシャルワーカー)や各市役所・支所介護保険係までお問い合わせ下さい。





夏になって暑くなると、「なんとなくだるい」、「食欲が無くなる」と感じる人も多いのでは?暑い夏を元気に過ごすために、夏バテの原因を知って、しっかり予防しましょう。

夏バテの3大原因



1) 体内の水分とミネラルの不足

夏になると気温が上昇して体温も上がるため、身体は汗をかいて体温を下げようとしますが、汗は、体内の水分と一緒にミネラル分も体外へ排出してしまうため、身体に必要なミネラル分も大量に失われてしまいます。

2) 暑さによる消化機能の低下、栄養不足

暑いと胃の消化機能が低下してしまい、栄養の吸収が悪くなり、食欲不振を起こしてしまいます。栄養の吸収が悪くなると、身体に必要な栄養素が不足し、夏バテ特有の症状が出やすくなります。

3) 暑さと冷房による冷えの繰り返し

冷房が効いた室内から、屋外へ一歩踏み出すと、めまいやたちくらみを感じたりすることはありませんか?これは体温を調節する自律神経が、気温の変化に対応しきれなくなっており、自律神経失調症をひきおこしている可能性が考えられます。自律神経の働きをスムーズにするためには、室温と外気の温度差を5度以内にし、適度の水分補給を心がけることが必要です。



・夏バテを防ぐ水分補給

水分不足にならないためには、水を飲む習慣をつけておくのがおすすめです。1日およそ1.8~2.0リットルを目標にしましょう。水分補給の量やタイミングも大切です。

・のどの渇きにさからわない

のどが渇いたと感じたら、がまんせず、すぐに十分な水分を補給しましょう。

・温かい飲み物を上手に取り入れよう

冷房の効いた涼しい部屋で長い時間過ごす人は、身体の冷やしすぎに注意が必要です。室内にいるときは、温かいお茶などで水分補給するとよいでしょう。

・甘い物を飲み過ぎない

糖分の多い甘い飲み物は、空腹を感じなくさせます。糖は疲労回復に効果がありますが、飲み過ぎは食欲不振におちいってしまい、夏バテを招きかねません。

・食欲不振のときも水分だけは補給する

夏バテして食欲不振になってしまっても、水分だけは必ずとるようこころがけましょう。もちろん、1日に必要な栄養は、なるべく食事から摂取するようにしましょう。

以上のポイントを覚えておいて、健康的な水分補給をこころがけ、夏バテをしっかり防いでいきましょう。



☆食中毒予防のポイント☆

栄養課

蒸し暑い日がだんだんと多くなってきました。そろそろ食べ物が痛みやすい季節です。食べようと思ったら食品から嫌な臭いが…。という経験をされた方も多いと思います。これからの時期は食中毒に注意が必要になってきます。今回は食中毒予防のポイントについてご紹介致します。



ポイント① 食品の購入

- 肉・魚・野菜などの生鮮食品は新鮮なものを購入しましょう。
- 特に、生鮮食品などのように冷蔵や冷凍などの温度管理の必要な食品の購入は、買い物の最後にし、購入したら寄り道せず、まっすぐ帰るようにしましょう。

ポイント② 家庭での保存

- 冷蔵や冷凍の必要な食品は持ち帰ったら、すぐに冷蔵庫や冷凍庫に入れましょう。
- 肉や魚などはビニール袋や容器に入れ、冷蔵庫内の他の食品に肉汁などがかからないようにしましょう。
- 肉・魚・卵などを取り扱う時は、取り扱う前と後に必ず手を洗いましょう。せっけんを使い洗った後、流水で十分に洗い流すことが大切です。

ポイント③ 下準備

- 作業開始の前は必ず手を洗いましょう。生の肉、魚、卵を取り扱った後には再度手を洗いましょう。
- 包丁やまな板は、肉用、魚用、野菜用と別々にそろえて、使い分けると安全です。洗った後に熱湯をかけて使うとよいでしょう。
- 冷凍食品など凍結している食品を調理台に放置したまま解凍するのはやめましょう。解凍は冷蔵庫の中や電子レンジで行いましょう。

ポイント④ 調理

- 加熱して調理する食品は十分に加熱しましょう。
- 料理を途中でやめてそのまま室温に放置すると、細菌が食品に付いたり増えたりします。途中でやめる時は冷蔵庫に入れましょう。

ポイント⑤ 食事

- 食卓に付く前に手を洗いましょう。
- 清潔な手で清潔な器具を使い、清潔な食器に盛り付けましょう。

ポイント⑥ 残った食品

- 残った食品はきれいな器具、皿を使って保存しましょう。
- 時間が過ぎたら、思い切って捨ててしまいましょう。
- 残った食品を温め、直す時も十分に加熱しましょう



●診療情報の提供及び開示につきまして

当院では、患者さま・ご家族より診療情報の提供（診療内容の説明）及び開示（カルテ開示）についてお申し出があった際は速やかに対応させていただきシステムになっておりますが、提供・開示の際に必要な条件書類等がございます。

～診療情報の提供及び開示の条件・必要書類・申請方法～
担当の窓口にて対応させていただきます。
御遠慮なく病棟スタッフへお申し出ください。

●セカンドオピニオンにつきまして

患者さま・ご家族が、当院で十分納得していただいて、患者さまが主体的に治療を受けていただく為に、第三者である他医療機関の医師の診療を受けることについては、それに応じさせていただきます。

※セカンドオピニオンとは、...

セカンドオピニオン＝第2の意見。主治医以外の医師の意見。現在の主治医以外の診断や治療方針を聞くことで十分に納得して患者さまご自身が主体的に治療を受けていただく為に実施されています。

『セカンドオピニオン外来』が設置されている医療機関では保険診療が認められ、5,000円で算定されますが、内容によっては自費で10,500円～20,000円かかることもあります。

個人情報保護方針

当院は、個人の権利・利益を保護するために、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考えます。

個人情報保護に関する方針を以下のとおり定め、職員及び関係者に周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。

1. 個人情報の収集・利用・提供

個人情報を保護・管理する体制を確立し、適切な個人情報の収集・利用および提供に関する内部規則を定め、これを遵守します。

2. 個人情報の安全対策

個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏洩などに関する万全の予防措置を講じます。

万一の問題発生時には速やかな是正対策を実施します。

3. 個人情報の確認・訂正・利用停止

当該本人（患者さま）等からの内容の確認・訂正あるいは利用停止を求められた場合には、別に定める内部規則により、調査の上、適切に対応します。

4. 個人情報に関する法令・規範の遵守

個人情報に関する法令およびその他の規範を遵守します。

5. 教育および継続的改善

個人情報保護体制を適切に維持するため、職員の教育・研修を徹底し、内部規則を継続的に見直し、改善します。

6. 診療情報の提供・開示

診療情報の提供・開示に関しては、別に定めます。

7. 問い合わせ窓口

個人情報に関する問い合わせは、各部署責任者または以下の窓口をご利用ください。

個人情報保護相談窓口：地域医療連携センター

氷山の一角（意見箱より）



患者様・ご家族様からのご意見・ご要望に関する回答

▼節電しましょう。無駄な電気が多いです。

→ご意見ありがとうございます。明るい部屋に電気が点けばなしになっていた状態や消し忘れの可能性があります。今後はスタッフ一人ひとりが節電の意識を持ち、無駄な電気を使用しないよう心掛け努めて参りますのでよろしくお願い致します。

▼今度の大地震で津波もあって多く建物が流されたり多くの方が亡くなりましたが、この病院も改めて耐震構造はどうなっているのか見直して、このような大地震はおそらく無いと思いますが起きた時にどうするのかしっかりしたマニュアルを組んで患者や職員皆が安心して利用できるように心から願っていますのでよろしくお願い致します。

→ご意見ありがとうございます。耐震構造の検査は実施しております。また防災訓練も行っており防災マニュアルに沿った対応ですすめて参りますのでよろしくお願い致します。

ご意見箱は、外来と各階食堂談話室ならびに腎センターに設置してあります。患者さま・ご家族様よりいただきましたご意見に対し、当院では毎月開催しております『サービス向上委員会』にて検討し、改善策を導き出して対応させて頂いております。皆様からのご意見を今後ともよろしくお願い致します。

☆編集後記☆

氷山の一角でも紹介がありましたように、東北・関東大震災の影響で世間でも節電が呼びかけられています。当院でも節電の一環として、院内のエアコン温度を28度に設定してあります。ご迷惑をお掛けするかと思いますが、みなさまのご理解とご協力をよろしくお願い致します。（岩瀬谷）

※本掲載分の個人名・団体名につきましては個人情報保護法に基づき、本人またはご家族の同意を得て掲載されております。



医療法人 玉昌会 加治木温泉病院

〒899-5241

始良市加治木町木田4714

TEL 0995-62-0001 (代)

FAX 0995-62-3778

URL <http://www.gyokushukai.com/>

診療科目

- 内科（人工透析含む）
- 皮膚科
- リハビリテーション科
- 消化器科
- 耳鼻咽喉科
- 泌尿器科
- 放射線科
- 歯科

